



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

2023年3月23日
農林中央金庫
ジャパンリアルエステイト投資法人

農林中央金庫・ジャパンリアルエステイト投資法人による サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登）と、ジャパンリアルエステイト投資法人（執行役員：加藤謙、以下「JRE」）は、サステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）による金銭消費貸借契約（以下「本件ローン」）を締結いたしました。なお、農林中央金庫とJREによるSLLは今回で5回目となります。

SLLは、借り手の経営戦略に基づくサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）を設定し、貸付条件をSPTsの達成状況に連動させることで、借り手に対し目標達成に向けた動機付けを促進するとともに、環境・社会の面から持続可能な事業活動および成長支援を目指すものです。

JREは、環境への配慮・社会貢献・ガバナンスの強化という社会の持続可能性向上に取り組むことが、上場投資法人として期待されている社会的責務であり、投資主価値の最大化を図るうえでも不可欠であると考えております。また、2022年3月、JREは2020年に発表したCO₂排出量削減目標から、更に水準を引き上げた目標※₁（CO₂排出量を2019年度比で2030年度までに80%削減、2050年度までに実質ゼロ）を設定し、積極的な再生可能エネルギー由来の電力の導入や、環境負荷軽減につながる保有ビルの設備改修やグリーンビル認証の取得、地域社会への貢献活動等に一層取り組んでいます。

農林中央金庫は、2021年5月に発表した中長期目標のなかで、2030年までにサステナブル・ファイナンスの新規実行額を10兆円とする目標を設定するなど、サステナブル経営に向けた歩みを進めており、JREが目指すサステナブル経営の理念にも共感しています。本件ローン対応を通じて、CO₂排出量削減をはじめとしたJREによる気候変動問題の解決に資する取組みを支援してまいります。

本件ローンでは、JREの「サステナビリティ方針」に基づく目標を踏まえて、CO₂排出量削減率（2030年度目標：2019年度比80%削減）とBELSにおけるZEB認証を取得した不動産※₂の保有棟数（2030年度目標：5棟）をSPTsに設定いたしました。

なお、本件ローンの契約締結にあたっては、SLL原則への準拠性や、設定したSPTsの合理性について、株式会社日本格付研究所より第三者意見を取得しており、上記SPTsについては、野心度および有意義性等の観点からSLL原則に適合していると評価されております。

※₁JRE が設定した新目標の詳細は以下のリンク先をご参照ください。

(<https://www.j-re.co.jp/file/news-fdb799fb3ffb8035f36f319c3ede6760855b9d0f.pdf>)

※₂Nearly ZEB、ZEB Ready、ZEB Oriented を含む。

【本件ローンの概要】

- 実行日： 2023年3月27日
- 融資期間： 10年
- 金額： 35億円
- 資金用途： 借換資金

【本件ローンが貢献する主な SDGs】



【参考リンク】

JRE の ESG サイト：

<https://jre-esg.com/>

株式会社日本格付研究所による第三者意見：

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 企画管理部 広報財務 IR 班 03-6362-7172

ジャパンリアルエステイト投資法人 03-3211-7951